

東山梨教育協議会「進路教育研究部会」 研究の経過と概要

東山梨教育協議会では、「教科別部会」と「問題別部会」の2部会への所属により、研究を進めてきた。1部会制になり、旧問題別部会の中には希望者が少なく、十分な構成員がいなかったため成立しない部会もあった。進路教育部会もその一つであったが、再開して7年が経過した。キャリア教育の推進が掲げられる中、各中学校からだけでなく小学校からの所属部員もあり、研究に広がり生まれつつある。これまで、以下のように小学校・中学校で研究授業を年に一回ずつ行い、研究を進めてきた。

- ・ 2009年度
「みそ販売プロジェクト」(小6)
「今の自分、これからの自分」(中1)
- ・ 2010年度
「職場体験学習を通じた進路学習」(中2)
「中学校生活を先輩(中1)に聞く会」(小6)
- ・ 2011年度
「受験期を迎えての生活」～学校説明会、オープンスクールに参加して～(中3)
「いつもありがとう」(小2)
- ・ 2012年度
『運動会を成功させよう』『最高学年としての自分、仲間』(小6)
「これからの日本経済の課題」(中3)
- ・ 2013年度
「文明のおこりと日本列島」(中1)
「くらしを支える情報」(小5)
- ・ 2014年度
「おはなしをたのしもう」(小1)
「LET'S READ2 Try to Be the Only One」(中2)

このように、ここ数年は「学級活動」「総合的な学習の時間」だけでなく、キャリア教育の視点に立った教科指導を中心に、研究を進めている。

1. 部会テーマ

一人一人にあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか
～小・中における授業実践を通して～

2. 研究経過と予定

- 5月 8日 組織・テーマの検討
- 5月20日 春季教研報告

年間活動計画・研究内容について

- 6月 3日 各小中学校の実践提案
授業者決定
- 8月 3日 夏季学習会（塩山高校教諭を招いて）
高校入試制度についての討議
- 8月28日 統一授業研究（塩山北中・河野美春教諭）
研究授業「Unit4 Learn By Losing」
- 9月30日 県教研についての確認
各小中学校の実践提案
高校入試制度についての討議
- 11月25日 県教研報告
各小中学校の実践提案
- 1月13日 統一授業研究授業案検討
実践報告（未発表校）
- 2月 3日 統一授業研究
研究授業（八幡小・小林淳子教諭）
- 2月18日 1年間の研究の総括

3. 成果と課題

体験的な学習、知識・技能を活用する学習により、勤労観や職業観を育てていくキャリア教育は、小学校においても、中学校においても教育活動の様々な場面で日常的に行われていることである。また、キャリア教育を通して学習意欲の向上や学習習慣が確立し、「自己有用感（自己肯定感）をいかに育てていくか」ということを、私たち教職員は意識しなければならない。

本部会では『キャリア教育の在り方』について、『4領域8技能』から『基礎的・汎用的能力』へと転換されていることを踏まえ、キャリア教育の視点を取り入れた教科の授業についての研究を行っている。その際、集団における自己の役割を意識させる授業や言語活動を通してキャリア教育で求められていることの実現に向けた取り組みも行っている。また、小中の連携同様、人間関係の構築や学力保障の点から、中高の連携も今後さらに必要になってくると思われる。今年度は、高校説明会や高校からの中学校訪問以外にも高校教師と話をする機会を設定できたことは大きな成果と言える。

小学校からの所属部員があり、年々研究も深まってきている。中学校において各校のキャリア教育の担当が学年主任・副主任という立場であることが多いため、所属部員に学級担任が少なく、授業実践をもとに研究するのが難しい面があった。しかし、キャリア教育の視点を取り入れた教科の指導についての研究を実施し始め、改めて授業を見直す機会をもてるようになってきている。

また、高校入試課題アンケート結果を活用したり、各校の入試についての実際の様子を出し合ったりしながら、部会の研究で出された意見を中学校からの要望として様々な機会を利用して高校側へ伝えていくことも必要であると考えます。

4. 研究部会員

指導助言者 鶴田 一路 (松里中教頭)
部長 古屋 友香 (松里中)
副部長 土屋 憲一 (勝沼中) 小林 淳子 (八幡小)
部員 河野 美春 (塩山北中) 山下 栄子, 辻 純二 (勝沼中)
鮎澤 智美 (大和中) 上野 基広 (山梨北中) 清水 岳人 (山梨南中)
小川 寿子 (笛川中)

3年英語科学習指導案

指導者 河野 美春

1. 単元名

New Horizon English Course 3 Unit 4 Learn by Losing

2. 単元について

本単元は、外国人にすもう観戦を勧めるパンフレットや外国人力士の失敗談などのエピソードが紹介され、「失敗から学ぶ」ということについて考えさせられる内容となっている。今後さまざまな経験をしていく生徒達にとって、失敗から学ぶ、ということや失敗を恐れず挑戦すること、などは励みになると思われる。また、他国から力士を目指して日本にやってくる若者たちの生き方からも、目標に向かって努力することの大切さを感じ取ってほしい。

文法事項としては、to不定詞の様々な用法 (how to, It's ~for ○○ to …, want ○○to…) を取り扱う。2年時に学習してきたto不定詞よりさらに複雑な文型であり、文型練習を多く行い、慣れさせることが必要ではあるが、これらの文法事項を用いることで、自分の意志や情報を伝えたり、説明したりすることの幅が広がってくる。

3. 生徒の実態

男子 14 名女子 8 名、計 22 名のクラスである。

授業の雰囲気は良好で、発問に対する反応もよい。簡単な質問には自分から進んで手を挙げたり発言するが、少し難しい質問になるとわかっているにもかかわらず自信がないのか手をあげなかったり、発表などでは消極的になってしまうところが見られる。

昨年度の英語学習に関するアンケートの結果を見ると、英語は好きだが苦手意識を持っている生徒が多い。また、学習内容に関しては読むことや書くことはどちらかというところが好きだという生徒が多いが、発表することに最も抵抗感があるようである。

【キャリア教育の視点から】

〈人間関係形成・社会形成能力〉

協力して物事に取り組む雰囲気はあるが、時に場をわきまえない発言、他人の気持ちを考えない発言をする生徒がいる。全体としては、おとなしい生徒も集団に溶け込み、

排他的なところはない。

〈自己理解・自己管理能力〉

遅刻はほとんどなく、生活のリズムも問題ないと思われる。学習習慣、プリント等の整理、提出物など、自己管理ができない生徒が一部いる。

〈課題対応能力〉

週1回のランクアップテストでは、頑張れば満点や合格点がとれるのに、その前に努力しない生徒がおり、再テストを受けることになってからやっと勉強するという生徒がいる。自分のなすべき課題を意識して努力する意識が薄い。日常生活においても、何か壁にぶつかった時に、それを乗り越えようというパワーがない生徒や、自分で解決しようとしないう生徒がいる。

〈キャリアプランニング能力〉

2年時の職業学習で将来の職業について考える機会を持ったが、まだ夢や目標はあいまいな生徒が多い。夢に向かって高校・大学としっかりルートを描いている生徒もいる一方、なりたいものははっきりしているが、とりあえず高校は普通科、という生徒も多い。

4. 単元の学習目標

- ・相撲に興味を持つ。
- ・「疑問詞＋不定詞」の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・It is … for ---- to ～の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・want … to ～ の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・外国人力士のエピソードの内容を理解し、そのエピソードから、失敗を恐れない姿勢の大切さを理解する。
- ・外国人力士の生き方について考え、自分の生き方と照らし合わせて考えることができる。

5. 単元の指導計画

第1次	Starting Out	題材に関心を持つ。 「疑問詞＋不定詞」の形・意味・用法の理解	(2時間) <u>本時</u>
第2次	Dialog	It is … for --- to ～ の形・意味・用法の理解 友人を誘う場面での対話	(2時間)
第3次	Reading for Communication	エピソードについての説明文の内容理解 失敗を恐れない態度の大切さを理解する。 want… to ～ の形・意味・用法の理解	(3時間)
第4次	Review	to 不定詞の特別な用法の復習 流れに即した応答文を書く	(2時間)

6. 本時の授業

(1) 日時 平成27年8月28日(金) 5校時

(2) 場所 塩山北中学校 3年A組教室

(3) 題材 New Horizon English Course 3 Unit 4 Learn by Losing

(4) 本時の目標

・「疑問詞＋不定詞」の形・意味・用法を理解できる。

〈課題対応能力〉

・進路選択に関わって、悩んでいる友人へのアドバイスを考えて書くことができる。

〈人間関係形成・社会形成能力・課題対応能力、キャリアプランニング能力〉

(5) 本時の評価基準

A	B	Cの生徒への手だて
「疑問詞＋不定詞」の形で表された質問の意味を理解し、また、自分でその形での文を作ることができる。 どうすべきか悩んでいる同世代の仲間へのアドバイスを正しい英語で書くことができる。	「疑問詞＋不定詞」の形で表された質問の意味を理解できる。 どうすべきか悩んでいる同世代の仲間へのアドバイスを考えることができる、英語にしてみるることができる。	how to, what to doなどを疑問詞の意味から考えさせる。 自分が同じ立場だったらどうするか、考えさせる。 簡単な英語(命令文など)でよいので英語を書かせる。

(6) 展開

過程・時間	学習内容・生徒の活動	指導内容・教師の支援	備考・評価
ウォームアップ1 2分	あいさつ 簡単な会話 目標提示	元気にあいさつをする。 Classroom Englishに慣れさせる。	英語を学習する雰囲気を作る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> Today's goal: be able to write advice to your friend in need. be able to understand ("how to ~, what to ~".) </div>			
ウォームアップ2 3分	1 minute talking に取り組む。[ペア]	“Where did you go during the summer vacation?”で会話をスタートさせる。	会話が苦手な生徒に支援しながら行う。
導入	本課の内容について知る。	教科書の内容を導入し、基	積極的に理解

10分	how to, what to do について知る	本文を確認する。 「疑問詞+to 不定詞」について説明する。	しようとして いるか。(観察)
<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>I know <u>how to</u> get tickets. どう〜すべきか→〜のしかた <u>what to</u> なにを〜すべきか</p> </div>			
展開 1 10分	タスク (課題) 1 〔全体→ペア〕 how to, what to を使って のドリル活動に取り組む。	タスク 1 の説明を行う。 基本文を提示し、動詞を 入れ替えることでいくつか の英文を言わせる。 ペア活動では机間巡視し て、支援する。	積極的に取り 組んでいるか。 (観察)
展開 2 23分	タスク (課題) 2 〔個人→グループ〕 相撲力士にあこがれる外 国の少年の質問へのアドバ イスを考える。 黒板にボードを貼ってグ ループごと発表させる。	タスク 2 の説明を行う。 机間巡視しながら、英文 をチェックする。なかなか 書けないグループにはヒン トを与える。 英語が書けなければとり あえず日本語でもいいから 考えるようにさせる。	自分なりに考 えてアドバイ スを書けてい るか。(観察) 正しい英文で 書くことがで きているか。 (ワークシート)
まとめ 2分	本時の学習の振り返りをす る。 あいさつ。	how to, what to の使い方 について再確認する。 壁にぶつかっても、助け合 い励まし合ってそれぞれの 夢に向かって努力すること について話をする。 あいさつ。	

[授業で使用したワークシート：内容]

① how to～, what to～ を学ぼう

class____ No. ____Name_____

①例文： I don't know how to cook *tempura*. (天ぷらの作り方を知りません。)

how to 以下の動詞句を変えて、「～のしかた（方法）を知りません。」という文を作ろう。

-
-
-

②例文： Tell me what to do. (何をすべきか教えてください。)

what to 以下の動詞句を変えて、「何を～すべきか教えてください。」という文を作ろう。

-
-
-

② Let's write advice to your friend abroad.

Hello.

I'm White from Russia. I'm twelve years old. I like sumo and I want to be a sumo wrestler. But my parents don't agree with that. And I don't know how to become a sumo wrestler.

I don't know what to do. Please give me some advice.

Useful Expressions

had better ～(動詞) ～した方がよい

should ～(動詞) ～すべきだ

Why don't you ～?(動詞) ～したら?

How about ～ing? ～するのはどう?

I think you should ～. ～すべきだと思うよ。

生徒達が書いたワークシート

how to~, what to~ を学ぼう

class __, No. __ Name _____

①例文: I don't know how to cook tempura. (天ぷらの作り方を知りません。)
how to 以下の動詞句を変えて、「~のしよ(方法)を知りません。」という文を作ろう。

- I don't know how to cook bibimbab.
- I don't know how to drive a car.
- I don't know how to ride a bike.
- I don't know how to go to Nishi-ko.

②例文: Tell me what to do. (何をすべきか教えてください。)
what to 以下の動詞句を変えて、「何を~すべきか教えてください。」という文を作ろう。

- Tell me what to watch.
- Tell me what to eat.
- Tell me what to study.
- Tell me what to cook.

文型練習 (タスク 1)

Let's write advice to your friend abroad.

Hello.

I'm White from Russia. I'm twelve years old. I like sumo and I want to be a sumo wrestler. But my parents don't agree with that. And I don't know how to become a sumo wrestler.

I don't know what to do. Please give me some advice.

Why don't you eat a lot?
You should training.
You had better come to Japan and see the real sumo.
You go to high school famous for sumo.
I think you should visit some stable.
You should tell your parents many good points of sumo.
Be confident.
You can do it.

Useful Expressions

had better ~ (勧誘) ~した方がよい。
should ~ (勧誘) ~すべきだ
Why don't you ~? (勧誘) ~したら?
How about ~ing? ~するのはどう?
I think you should ~. ~すべきだと思うよ。

アドバイスを考えて書く (タスク 2)

【生徒が書いた英文】

Why don't you eat a lot?

You should come to Japan and see the real sumo.

I think you should visit sumo stable.

You should tell your parents many good points of sumo / good stories about sumo.

Be confident. You can do it.

Tell them "Sumo makes people happy."

You had better study Japanese.

Why don't you call Takasago beya?

Try to persuade your parents.

など

Let's write advice to your friend abroad.

UNIT 4で学んだことを生かして、他の人の意見も参考にしながら、Whiteくんにアドバイスを書きましょう。Hello. で始めて、簡単な自己紹介も入れてよい。

Hello.

I'm White from Russia. I'm twelve years old. I like sumo and I want to be a sumo wrestler. But my parents don't agree with that. And I don't know how to become a sumo wrestler.

I don't know what to do. Please give me some advice.

I think you had better come to Japan and see the real sumo.
Why don't you talk about sumo's good points?
Your parents will understand you.
Don't be afraid of being rejected.

Useful Expressions

had better ~ (勧誘) ~した方がよい。
should ~ (勧誘) ~すべきだ
Why don't you ~? (勧誘) ~したら?
How about ~ing? ~するのはどう?
I think you should ~. ~すべきだと思うよ。

ユニットまとめで書かせたアドバイス

授業後の研究会より

(1) 授業者より

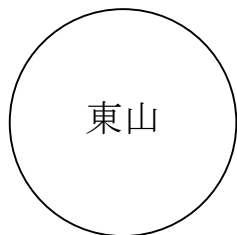
- ・現実的なところを考えにくかったかもしれない。
- ・なぜ両親が反対するのかについてももっと考えさせたかった。
- ・別のクラスでは出たのだが、インターネットで調べてみるなどの意見が出なかったのが残念。
- ・他の人の意見を聞くことができ、自分一人では書けない生徒も書くことができてよかった。
- ・英語の授業としてはもう少し時間をかけたかった。
- ・機器の不具合を避けるため（DVDプレーヤーではなく）パソコンから音声を出したので、音量がやや不足だった。

(2) 参観者より

- ・(質問) 教科書の教材なのか→教科書にそのままある教材だが、アドバイスを書くというタスクはオリジナルである。
- ・(質問) 今日の授業のめあてについて→アドバイスを第1のめあてとし、そのために **how to**, **what to** を第2のめあてとした。
- ・まとめ、めあて、については、校内研で毎時間の授業の中で提示するよう意識統一をしている。
- ・ロシアの少年へのアドバイスを考えることで、自分の進路のことも考えられる。
- ・反応がよい。教科的な内容のまとめとキャリアの視点のまとめと両方ができるとよい。
- ・クラスルームイングリッシュが掲示してあって、それを活用して生徒が作文していた。
- ・オールイングリッシュではないが、言えるところはできるだけ英語で言う、言わせるようにしている。
- ・キャリアの視点に立った授業については、それぞれの教科担当がそれぞれの授業の中で指導を行っている。
- ・相手の立場に立って考えるという視点が大切だと思った。
- ・生徒達が生き生きと活動していた。グループの中で自分の意見が言えていた。初めは日本語で書いて、それを英訳することで、英語が苦手な生徒も参加できてよかった。
- ・キャリア教育＝進路教育ではない。教科の中で進路にからめて少しずつキャリア教育していく方向にある。教科本来の目的を達成しつつ、それに加えてキャリア教育に少しふれられるとよい。

山連教第 65 次

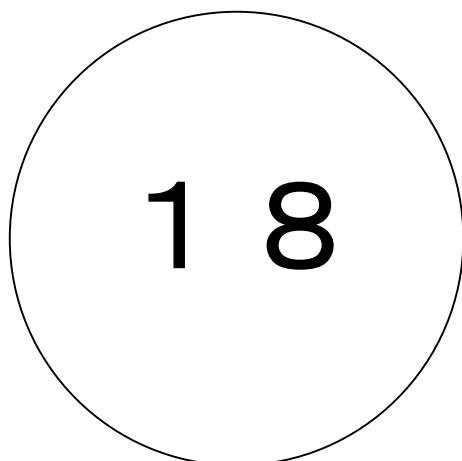
教育研究集会報告書



東山

教科におけるキャリア教育【英語科】

New Horizon English Course
Unit4 Learn By Losing
～悩んでいる友人へのアドバイスを書く～



18

山連教 東山地区

塩山北中学校 河野 美春

